



伊藤統括ディレクター

方々にも加わっていただける点に意義があります。私たちはこれを「自分ごと化会議」と呼んでいます。

目的は二つあります。一つは行政の課題を住民の皆さんと共に考え、解決の糸口を探ること。もう一つは、まちのことを「自分ごと」として捉えるきっかけにしたいことです。議論の中では「行政に任せること」だけでなく、「自分や地域でできること」を探していきます。これまで全国各地で同様の会議を行ってきましたが、どこでも率直で前向きな提案が生まれています。与謝野町でも必ず良い結論につながると思っています。どうか難しく考えず、生活の実感をそのまま話してください。

【シリーズ】  
みんなでつくる総合計画  
— Vol.4 —

第1回

# 「よさの未来会議」を開催しました。

— 10年後のまちの将来像を描く —

企画財政課 ☎ 43-9015

与謝野町では、令和7年度と8年度の2ヵ年をかけて「第3次与謝野町総合計画」を策定します。住民の皆さんとの対話の場として、無作為抽出で選ばれた住民の皆さんにご参加いただき、9月14日に第1回「よさの未来会議」を開催し、全体会・分科会・全体ふりかえりの3部構成で行いました。今月号ではその概要をお伝えします。



全体会

## 10年後の未来を描くために

与謝野町長 山添 藤真

### 人

口減少は「静かなる有事」です。働き手不足や空き家の増加、税収の減少が及んでいます。こうした現状を踏まえ、これからの10年をどう描くかが重要です。そのために必要な視点は二つあります。一つは、人口が減っても地域を維持できる仕組みをどうつくるか。もう一つは、人口減少を抑える仕組みをどうつくるかです。今回の「よさの未来会議」では、「しごと」「ひと」「くらし」を柱に対話を深めます。これは住民アンケートでも関心が高い分野です。

また、役場庁舎のあり方も避けて通れない大きなテーマです。今のまま分庁舎方式を続けるのか、まちの中心に総合庁舎を整備するのか。今こそ皆さんと共に考える

### 多様な声を聞く

### 「自分ごと化会議」

一般社団法人構想日本  
統括ディレクター 伊藤 伸氏

### 今

回の「よさの未来会議」の大きな特長は、無作為抽出で住民の皆さんが集まっていたことです。普段は会議に参加する機会の少ない



ときです。参加の応募をいただいた68人の皆さんや職員の思いや経験をもとに、10年後の未来像を共有できることを大変うれしく思います。この対話の積み重ねこそがまちをつくる力になると確信しています。

全体ふりかえり

分科会コーディネーターからのまとめ発表のあと、伊藤統括ディレクターからは「分科会ごと」に共通する意見もあれば逆の意見もあり、多様な価値観が出されたこと自体に意義がある」と述べられました。また、山添町長は「参加者一人ひとりが、なぜ与謝野町に暮らしているのか、生活の中で感じる改善点を率直に語ってください。それが大変うれしく、大きな学びになった」と述べ、「こうした声を伺えたことに心から感謝し、今後も皆さんと共に未来を描いていきたい」と締めくくりました。あなたの声が、与謝野の未来をつくる——。今後も「よさの未来会議」を通じて、共に未来を考えていきましょう。

くらしづくり

与謝野町の「くらし」をより良くするために話し合いました。

- 空き家が増加していて危険。
- 子どもからお年寄りまでが集える屋内施設がない。
- 町内で日用品はそろいが車に乗れないと不便。
- 役場からの配付物や申請のデジタル化の推進。
- 役場庁舎がわかれていて不便。
- 道路や河川などインフラの維持。

与謝野町における雇用や働き方の課題を話し合い、次回に向けて、自分に何ができるかを考えていくこととなりました。

- 働き手だけでなく、サービス利用者も高齢化している。
- 求人倍率が高い職種と若者が希望する仕事にミスマッチが生じている。
- 都市部の企業とは給料や休日の面で差がある。
- さまざまな仕事を経験してスキルアップしていく「キャリアアップの道筋」が見えにくい。

くらしづくり

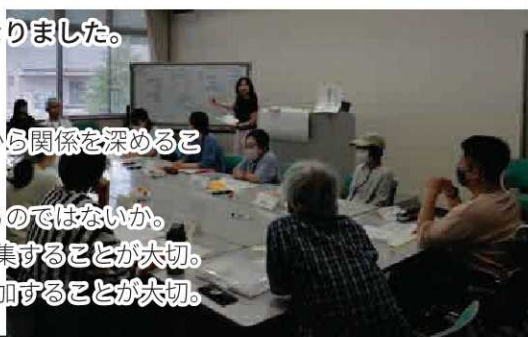
### 分科会

地域のために自分や地域ができることを話し合い、次回に向けて、自分が

きること、地域ができることを考えてくることとなりました。

ひとづくり

- 他者を知ることによって共感が生まれ、交流につながる。
- 祭りなどの地域行事などでの「気軽にプチ交流」から関係が深められることができる。
- 住民同士や地域で補い合えれば、できることがあるのではないかと。
- 行政だけでなく、住民自身が地域の情報を発信・収集することが大切。
- お互いを知ること、理解すること、交流すること、参加することが大切。



### ちょこっと未来会議

会議に参加できなかった方や、別の方法で声を届けたい方のために、意見募集を行います。



意見募集フォーム